

**■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。**

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2008年11月12日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（11月10日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

---

## スパークス・アジア中東株式ファンド （資産成長型）

---

### 第10期 運用報告書(全体版)

(決算日 2018年11月12日)

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)』は、このたび、第10期の決算を行いました。ここに第10期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

#### スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6期(2014年11月10日)	27,343	0	20.4	1,024.3	21.3	0.0	79.8	36
7期(2015年11月10日)	26,935	0	△1.5	995.3	△2.8	0.0	90.5	34
8期(2016年11月10日)	23,197	0	△13.9	899.1	△9.7	0.0	86.1	31
9期(2017年11月10日)	29,288	0	26.3	1,307.9	45.5	0.0	84.8	39
10期(2018年11月12日)	25,617	0	△12.5	1,162.3	△11.1	0.0	85.9	32

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2017年11月10日	円	%		%	%	%
	29,288	—	1,307.9	—	0.0	84.8
11月末	28,829	△1.6	1,290.9	△1.3	0.0	85.4
12月末	29,099	△0.6	1,317.5	0.7	0.0	88.6
2018年 1月末	29,426	0.5	1,353.6	3.5	0.0	84.2
2月末	28,558	△2.5	1,294.9	△1.0	0.0	83.8
3月末	27,803	△5.1	1,236.9	△5.4	0.0	84.3
4月末	28,091	△4.1	1,260.0	△3.7	0.0	86.9
5月末	27,825	△5.0	1,259.0	△3.7	0.0	86.9
6月末	27,159	△7.3	1,222.1	△6.6	0.0	86.9
7月末	27,845	△4.9	1,262.1	△3.5	0.0	85.6
8月末	27,856	△4.9	1,259.1	△3.7	0.0	88.1
9月末	27,362	△6.6	1,255.3	△4.0	0.0	87.7
10月末	24,464	△16.5	1,102.0	△15.7	0.0	87.6
(期末) 2018年11月12日	円	%		%	%	%
	25,617	△12.5	1,162.3	△11.1	0.0	85.9

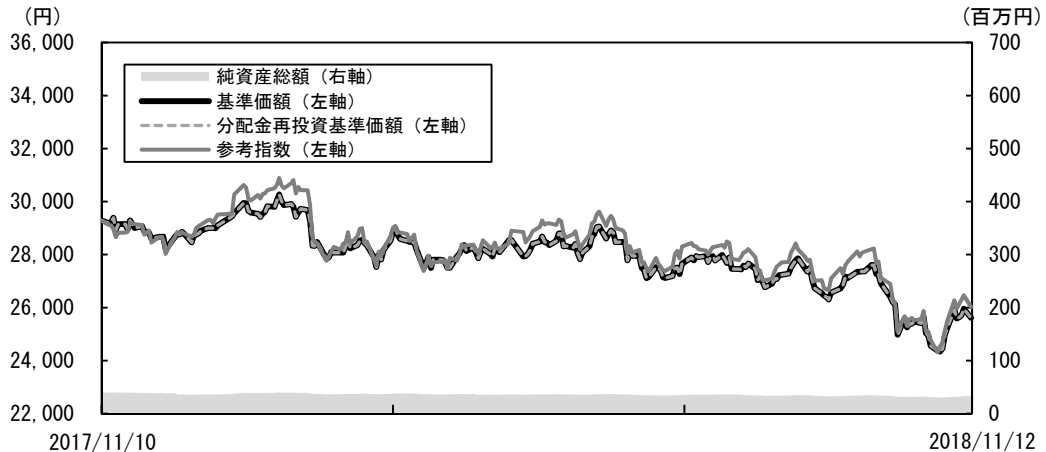
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2017年11月11日～2018年11月12日)

基準価額は期首に比べ12.5%(分配金再投資ベース)の下落となりました。



第10期首 : 29,288円

第10期末 : 25,617円(既払分配金0円)

騰落率 :  $\Delta$ 12.5%(分配金再投資ベース)

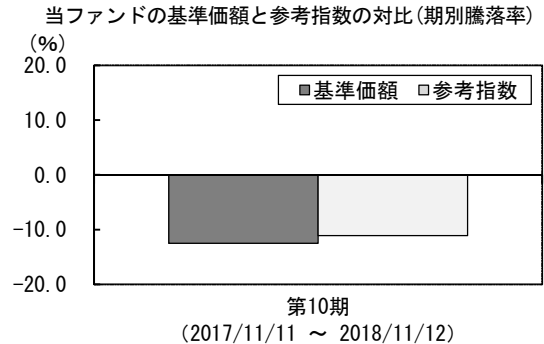
- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。
- ※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- ※ 参考指数は期首(2017年11月10日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドが投資している多くの市場が下落し、基準価額の下落要因となりました。また、多くの通貨に対して円高となり、基準価額にマイナスの要因となりました。

## 3)ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。  
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 投資環境

### (アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式)

FRB(米国連邦準備制度理事会)のパウエル新議長が利上げを継続する方針を表明し金融引き締めへ先行き不透明感が高まりました。アジア株式市場も、それに追随する形でボラティリティが上昇しました。そのため、日本円は投資資金の逃避先となりました。株価下落要因となったのは、米中貿易摩擦の激化、金利の上昇、中国経済の減速です。先行き懸念により、新興国市場から資本が流出しました。特にテクノロジーセクターは成長見通しの不透明感から、世界各国の株式市場で軟調に推移しました。スマートフォン市場の成長鈍化を受けて、スマートフォンのサプライチェーンに属する企業、特に台湾企業と韓国企業の受注が減少し利益率が低下しました。

### (国内債券・短期金融市場)

2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したため、国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなりました。

■ ポートフォリオ

＜ スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) ＞

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行いませんでした。

＜ SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド ＞

アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

(主なプラス要因)

中国広東省が所有し、上水道の運営と下水処理を手掛けるGuangdong Investment(香港/公益事業)は、質の高い公共サービスへの需要や、環境基準が高まっているため、上昇しました。台湾で7-ELEVENやStarbucksを運営するPresident Chain Store Corp(台湾/生活必需品)はサービス手数料収入の寄与度が高まったため上昇しました。

(主なマイナス要因)

中国本土、香港、マカオなどで事業を展開するインフラ建設業者のChina State Construction(香港/資本財)は、中国政府が官民連携(PPP)プロジェクトに関する規制を強化したことや、中国の不動産セクターと建設セクターに対する投資意欲の冷え込み、借入比率が大幅に上昇したことなどにより下落しました。Mediatek(台湾/情報技術)は、中国のスマートフォン需要の減退、ライバルの米国Qualcomm社による積極的な攻勢により下落しました。Haier Electronics(香港/一般消費財)は、現状ほどの伸びを見込めなくなるのではないかという見方が市場関係者の間に広がったことから下落しました。

＜ スパークス・マネー・マザーファンド ＞

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

## ■ 今後の運用方針

### < スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) >

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

### < SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

引き続き、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

### < スパークス・マネー・マザーファンド >

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当ファンドは中長期的な成長を図ることを目標として運用を行っていることから、分配金のお支払いは見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第10期 (2017年11月11日～ 2018年11月12日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— ( —%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	17,781

- (注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。
- (注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第10期 2017年11月11日～2018年11月12日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 )  ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	259円 ( 51 )  ( 197 )  ( 11 )	0.929% (0.183)  (0.707)  (0.039)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用  ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	30  ( 30 ) ( 0 )	0.108  (0.108) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ファンドの監査人等に対する報酬および費用 ・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	289	1.037	
期中の平均基準価額は27,860円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。(親投資信託を除く)

■ 売買および取引の状況 (2017年11月11日から2018年11月12日まで)

投資証券

銘 柄 名	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 0.127	千円 1,238	千口 0.13	千円 1,323

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。



■ 主要な売買銘柄 (2017年11月11日から2018年11月12日まで)

投資証券

買 付			売 付		
銘 柄	口 数	金 額	銘 柄	口 数	金 額
	千口	千円		千口	千円
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.127	1,238	SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.13	1,323

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2017年11月11日から2018年11月12日まで)

- 当期中の利害関係人との取引状況  
当期中における利害関係人との取引はありません。
- 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種 類	当 作 成 期		
	買 付 額	売 付 額	当作成期末保有額
	百万円	百万円	百万円
投 資 証 券	1	1	27

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社  
の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2017年11月11日から2018年11月12日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との  
当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得  
及び処分の状況 (2017年11月11日から2018年11月12日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2018年11月12日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		前期末	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド		千口 3	千口 3	千円 27,955	% 85.9
合計	口数・金額	3	3	27,955	—
	銘柄数<比率>	—	—	1銘柄	<85.9%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	前期末	当期末	
	口数	口数	評価額
スパークス・マネー・マザーファンド	千口 10	千口 10	千円 10

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当期末の受益権総口数は、9,974千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2018年11月12日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2018年11月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資証券	千円 27,955	% 84.7
スパークス・マネー・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	5,027	15.3
投資信託財産総額	32,992	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年11月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	32,992,136 円
コール・ローン等	5,026,224
スパークス・マネー・マザーファンド(評価額)	10,798
投資証券(評価額)	27,955,114
(B) 負 債	431,126
未払解約金	250,397
未払信託報酬	161,825
未払利息	13
その他未払費用	18,891
(C) 純資産総額(A - B)	32,561,010
元 本	12,710,593
次期繰越損益金	19,850,417
(D) 受 益 権 総 口 数	12,710,593 口
1万口当たり基準価額(C / D)	25.617 円

■ 損益の状況

当期 (自2017年11月11日 至2018年11月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,069,368 円
受 取 配 当 金	1,073,655
支 払 利 息	△ 4,287
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,598,320
売 買 益	1,187,187
売 買 損	△ 5,785,507
(C) 信 託 報 酬 等	△ 372,358
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 3,901,310
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,794,052
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	20,957,675
( 配 当 等 相 当 額 )	( 19,109,905 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 1,847,770 )
(G) 合 計 ( D + E + F )	19,850,417
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 ( G + H )	19,850,417
追 加 信 託 差 損 益 金	20,957,675
( 配 当 等 相 当 額 )	( 19,109,905 )
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 1,847,770 )
分 配 準 備 積 立 金	3,491,062
繰 越 損 益 金	△ 4,598,320

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

①期首元本額	13,622,065 円
期中追加設定元本額	6,793,097 円
期中一部解約元本額	7,704,569 円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目		第 10 期
費用控除後の配当等収益額	A	697,010円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	-円
収益調整金額	C	19,109,905円
分配準備積立金額	D	2,794,052円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	22,600,967円
当ファンドの期末残存口数	F	12,710,593口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	17,781.20円
1万口当たり分配金額	H	-円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	-円

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

## <参考情報>

### SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

#### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設 定 形 態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基 準 通 貨	日本円
運 用 方 針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主 な 投 資 制 限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決 算 日	12月末日
分 配 方 針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管 理 運 用 会 社	SPARX Asia Capital Management Limited
投 資 運 用 会 社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受 託 会 社	HSBC Trustee (Cayman) Limited
受託会社代理人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited
保 管 会 社	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

(注) 記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2018年11月9日現在)

外国株式等

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(アラブ首長国連邦市場)	百株	千UAEディルハム	千円		
First Abu Dhabi Bank PJSC	710	1,024	31,717	主要銀行	
小計	710	1,024	31,717		
	銘柄数<比率>	1銘柄	< 1.4%>		
(オーストラリア市場)	百株	千豪ドル	千円		
Aristocrat Leisure Ltd	270	732	60,258	娯楽用品	
CSL Ltd	58	1,111	91,512	バイオテクノロジー	
Sydney Airport Unit (Stapled)	859	564	46,480	その他輸送	
Transurban Group Unit	1,237	1,417	116,674	その他輸送	
Treasury Wine Estates Ltd	165	253	20,847	アルコール飲料	
小計	株数・金額	2,589	4,077	335,771	
	銘柄数<比率>	5銘柄	< 15.1%>		
(中国市場)	百株	千人民元	千円		
Zhengzhou Yutong Bus Co Ltd A Shrs	959	1,082	17,723	建設・農業機械	
小計	株数・金額	959	1,082	17,723	
	銘柄数<比率>	1銘柄	< 0.8%>		
(香港市場)	百株	千香港ドル	千円		
AIA Group Ltd	2,030	12,718	184,854	生命・健康保険	
CK Asset Holdings Ltd	485	2,583	37,538	不動産開発	
China Mobile Ltd	495	3,609	52,450	無線通信	
China State Construction International Holdings Ltd (HKSE)	8,483	4,776	69,414	建設・土木	
Geely Automobile Holdings Ltd	720	1,048	15,237	自動車	
Guangdong Investment Ltd	4,720	6,702	97,419	コングロマリット	
HSBC Holdings Plc (HKSE)	440	2,845	41,346	主要銀行	
Haier Electronics Group Co Ltd	2,560	4,393	63,851	電化製品	
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd (HKSE)	265	5,867	85,278	投資銀行・ブローカー	
Nexteer Automotive Group Ltd	2,570	2,971	43,182	自動車部品:OEM	
Samsonite International	1,536	3,648	53,023	その他耐久消費財	
Tencent Holdings Ltd	292	8,153	118,498	インターネット・ソフトウェアサービス	
Travelsky Technology Ltd H Shrs	870	1,646	23,925	その他商業サービス	
小計	株数・金額	25,466	60,958	886,015	
	銘柄数<比率>	13銘柄	< 39.8%>		
(インドネシア市場)	百株	千インドネシアルピア	千円		
Bumi Serpong Damai Tbk PT	21,393	2,567,160	19,891	不動産開発	
Matahari Department Store Tbk	3,183	1,679,033	13,010	デパート	
Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk	11,148	4,370,016	33,861	主要通信	
小計	株数・金額	35,724	8,616,209	66,762	
	銘柄数<比率>	3銘柄	< 3.0%>		

## スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(インド市場)	百株	千インドルピー	千円		
ITC Ltd (DMT) (NSI)	604	16,712	26,180	タバコ	
Indiabulls Housing Finance Ltd	182	15,732	24,644	金融・レンタル・リース	
小計	株数・金額	787	32,445	50,824	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 2.3% >	
(韓国市場)	百株	千韓国ウォン	千円		
Kangwon Land Inc	199	598,057	60,297	カジノ・ギャンブル	
LG Household & Health Care Ltd	4	488,400	49,241	家庭用品・パーソナルケア	
Samsung Electronics Co Ltd	140	620,200	62,530	通信機器	
小計	株数・金額	343	1,706,657	172,068	
	銘柄数<比率>	3銘柄	—	< 7.7% >	
(マレーシア市場)	百株	千マレーシアリンギット	千円		
Malayan Banking	2,288	2,125	57,889	地方銀行	
小計	株数・金額	2,288	2,125	57,889	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 2.6% >	
(フィリピン市場)	百株	千フィリピンペソ	千円		
Puregold Price Club Inc	3,534	15,196	32,591	食品小売り	
Universal Robina Corp	925	11,566	24,806	製菓業	
小計	株数・金額	4,459	26,762	57,396	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 2.6% >	
(サウジアラビア市場)	百株	千サウジアラビアリアル	千円		
Saudi British Bank (The)	110	354	10,745	地方銀行	
小計	株数・金額	110	354	10,745	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.5% >	
(シンガポール市場)	百株	千シンガポールドル	千円		
Singapore Post Ltd	1,476	147	12,130	航空貨物・航空輸送	
小計	株数・金額	1,476	147	12,130	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.5% >	
(シンガポール米ドル市場)	百株	千米ドル	千円		
Jardine Matheson Holdings Ltd (SGX)	39	235	26,759	コングロマリット	
小計	株数・金額	39	235	26,759	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 1.2% >	
(タイ市場)	百株	千タイバーツ	千円		
Advanced Info Service Pcl NVDR	510	9,282	31,980	無線通信	
Kasikornbank Pcl NVDR	412	8,528	29,384	地方銀行	
小計	株数・金額	922	17,810	61,364	
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 2.8% >	
(台湾市場)	百株	千台湾ドル	千円		
Catcher Technology Co Ltd	150	4,028	14,897	金属加工	
MediaTek Inc	730	16,681	61,697	半導体	
President Chain Store Corp	560	17,780	65,764	食品小売り	
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	1,960	45,276	167,465	半導体	
小計	株数・金額	3,400	83,764	309,823	
	銘柄数<比率>	4銘柄	—	< 13.9% >	

## スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(米国 ADR 市場)		百株	千米ドル	千円		
JD.com Inc ADR (1 ADR Reprs 2 Ord Shrs)		50	109	12,390	インターネット販売	
小計	株数・金額	50	109	12,390		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.6%>		
合計	株数・金額	79,322	—	2,109,376		
	銘柄数<比率>	41銘柄	—	<94.8%>		

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2017年11月10日  
至 2018年11月 9日

(単位：千円)

収益			
受取配当金			79,005
受取利息			224
解約差益			0
その他収益			866
	収益計		80,096
費用			
支払利息			0
受託会社報酬			27,827
監査報酬			4,053
源泉税			7,694
管理運営会社報酬			26,345
管理事務報酬			3,391
設立費償却			0
その他費用			3,429
	費用計		72,741
純投資損益			7,354
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益			
投資有価証券売買損益			231,743
為替差損益			△560
			231,182
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減			
有価証券未実現純評価損益増減			△618,407
為替未実現純評価損益増減			386
			△618,021
営業活動による純資産の純増減額			△379,484

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。



## スパークス・マネー・マザーファンド

### 第 11 期

決算日 2018年11月12日

(計算期間：2017年11月11日～2018年11月12日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式(新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額5%以内とします。
分配方針	決算日毎年11月10日(休業日の場合は翌営業日) 収益分配は行いません。

### スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテールBDマーケティング部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

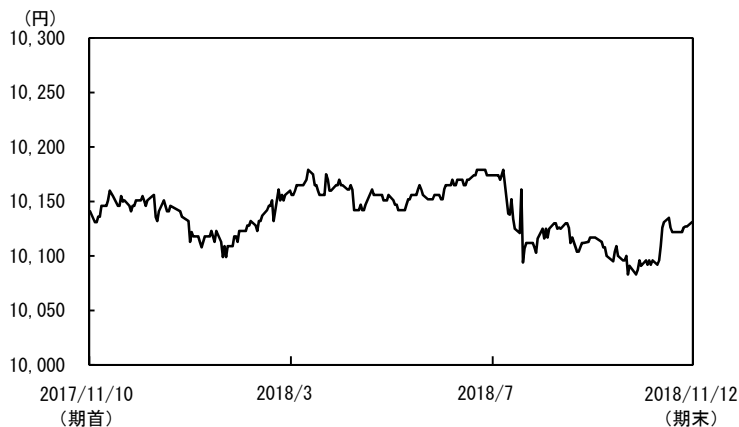
決算期	基準価額		債券 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		
7期(2014年11月10日)	円 10,124	% 0.1	% 73.7	百万円 13
8期(2015年11月10日)	10,125	0.0	73.8	13
9期(2016年11月10日)	10,143	0.2	99.4	10
10期(2017年11月10日)	10,141	0.0	99.5	10
11期(2018年11月12日)	10,131	△0.1	99.4	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2017年11月10日	円 10,141	% -	% 99.5
11月末	10,150	0.1	99.5
12月末	10,146	0.0	99.5
2018年 1月末	10,109	△0.3	99.5
2月末	10,146	0.0	99.5
3月末	10,156	0.1	99.5
4月末	10,147	0.1	99.5
5月末	10,161	0.2	99.5
6月末	10,170	0.3	99.5
7月末	10,161	0.2	99.5
8月末	10,117	△0.2	99.4
9月末	10,100	△0.4	99.4
10月末	10,122	△0.2	99.4
(期末) 2018年11月12日	10,131	△0.1	99.4

(注) 騰落率は期首比です。

## ■ 基準価額の推移



## ■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

## ■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## ■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ **期中の売買及び取引の状況**（2017年11月11日から2018年11月12日まで）

該当事項はありません。

■ **利害関係人との取引状況等**（2017年11月11日から2018年11月12日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ **信託財産と委託会社との間の取引の状況**（2017年11月11日から2018年11月12日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ **委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況**（2017年11月11日から2018年11月12日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2018年11月12日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,974千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期 末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組 入 比 率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	10,000	10,047	99.4	—	99.4	—	—
合 計	10,000	10,047	99.4	—	99.4	—	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切り捨て。一印は組み入れなし。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第347回長期国債10年	0.1	10,000	10,047	2027/6/20
合 計		—	10,000	10,047	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2018年11月12日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2018年11月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	10,047	99.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	58	0.6
投 資 信 託 財 産 総 額	10,105	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年11月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	10,105,588 円
コール・ローン等	54,573
公社債(評価額)	10,047,100
未 収 利 息	3,915
(B) 負 債	0
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	10,105,588
元 本	9,974,992
次 期 繰 越 損 益 金	130,596
(D) 受 益 権 総 口 数	9,974,992 口
1 万口当たり基準価額(C/D)	10,131 円

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	9,974,992 円
期中追加設定元本額	－円
期中一部解約元本額	－円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)	9,964,333 円
スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)	10,659 円

■ 損益の状況

当期 (自2017年11月11日 至2018年11月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	10,037 円
受 取 利 息	10,037
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 19,800
売 買 損	△ 19,800
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 9,763
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	140,359
(E) 合 計 ( C + D )	130,596
次 期 繰 越 損 益 金(E)	130,596

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。